

心豊かな教育、文化、人を育むまちづくり

「郡上学」の推進

「地域づくり」、「人づくり」を目的として、地域資源を活用した講座を開催しています。
「郡上でチャレンジする人」を増やし、育てていく「(仮)郡上学チャレンジプロジェクト構想」の立案に向け、自ら地域活動を実践する市民や市民団体、中・高校生の動きを集約しながら、プロジェクトの構想づくりを進めます。



「子どもたちのための郡上学」の推進

郡上学のねらいである「ふるさとの未来を創拓する人材を育てる」の具現化に向けて、幼保・小・中で一貫して計画的な郡上学を推進しています。

幼保・小・中までが体系化され、体験を中心とした郡上学の充実が図られていることで、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」という子どもが、国や県と比べて高いという結果も出ています。

今後も、郡上の未来の担い手となる地域社会人の育成を目指して、これまでの「ふるさと教育」に加え、生き方に迫る「キャリア教育」を融合させた「郡上学」の推進を図っていきます。

また、地域人材を活かした「郡上未来塾」による「地域課題解決プロジェクト」や「地域貢献活動」によるキャリア教育、市内高校と企業の学習を組み合わせた「デュアルシステム」など、郡上の未来を創拓する活動を推進していきます。

ふるさと学習

郡上の歴史文化を学ぶ



郡上の歴史文化を継承し発展させる



山と川の学習

郡上の自然に親しむ



郡上の自然を次世代へ継承する



しごとの学習

郡上の産業・観光を学ぶ



郡上の産業・観光の発展に貢献する



共に生きる学習

郡上で生きる力を育む



郡上で生きる力を創拓する



郡上市歴史資料館の建設

郡上に関わる様々な資料を、適切な環境下で保管する収蔵庫と、その整理作業や調査研究を行い、みなさんに見ていただくための施設として「郡上市歴史資料館」を整備しました。

歴史資料館では、資料収集及び燻蒸等の処理を行うとともに、展示室において企画展示を実施しています。

今後は、さらなる資料の収集と保存を主としながら、展示や閲覧、歴史講座の実施などを通じて、郡上の歴史にみなさんが親しんでいただける拠点施設として活用していきます。



「郡上かるた」の作成と普及

郡上の歴史・人物・名勝・社寺・産業等を紹介し、誰もが手軽に郷土を学び郷土愛が育まれることを目的として「郡上かるた」を平成23年に作成し、また、平成24年には副読本を作成しました。なお、「郡上かるた」は平成24年以降、市内小学校の新入学児童に「入学祝」として贈呈しています。

また、「郡上かるた」の普及のため、「郡上かるた大会」を毎年開催しています。

平成29年からは、「かるたチャレンジラリー」も実施しています。これは、「中学生ふれあい懇談会」で提案のあった「郡上かるたスタンプラリー」をヒントに、郡上市内の「郡上かるた」ゆかりの地を巡りながら、ふるさと郡上について楽しく学ぶ企画です。

今後も、かるた大会の開催やチャレンジラリーへの参加促進等を継続的に行い、郷土愛の醸成に努めていきます。



小中学校の施設整備

和良中学校と西和良中学校を統合し、新たに郡上東中学校が開校しました。また、平成31年3月には、西和良小学校が和良小学校に統合されました。これにより、和良地域と西和良地域の子どもたちが、保育園から中学校卒業まで、同じ環境下で学ぶことができるようになりました。

他にも、白鳥中学校、大和中学校の老朽化に伴い、建て替えを行いました。子どもたちが木のぬくもりを感じながら勉学に励むことができるよう、郡上市産材をふんだんに使った木造の校舎としました。

また、市内の各学校の校舎は、全て耐震化されており、子どもたちが安心して学べる環境が整っています。



学校間の情報交流の推進

TV会議システムを市内の全小中学校に設置し、学校間での児童生徒による情報交流や合同授業等に活用しています。

極小規模校とその姉妹校の間では、定期的に行われる情報交流や合同授業の実施により、子どもが多様な見方や考え方に触れる機会となっています。

今後は、学校間の交流を深め、サテライト授業等の実現に向けて、機器の整備や授業方法の研究を進めていきます。



特別支援教育の充実

すべての子どもが安心して学ぶことができ、自立した生活や社会参加ができるよう、就学前から高校を卒業するまで、一人ひとりの子どもの個性や特質に応じた指導ができる体制を整えています。

一人ひとりの子どもの特性の把握、身に付けたい力とそれに向けた支援について、子ども、保護者、学校が共通理解するための個別の支援計画の作成を進めています。

保護者と協力して支援ができるよう、就学相談や教育相談の体制を充実させるとともに、各学校や企業とも連携・交流を大切にした特別支援教育の体制づくりに努めていきます。